

平成25年7月10日

各 位

会 社 名 夢 展 望 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 岡 隆 宏
(コード番号：3185 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 部 長 阪 田 貴 郁
(TEL. 072-761-9293)

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成25年7月10日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであります。

【連結】

(単位:百万円、%)

項目	決算期	平成25年9月期 (予想)		平成24年9月期 (実績)		平成25年9月期 第2四半期累計期間 (実績)	
		構成比	前年比	構成比	構成比		
売上高	7,086	100.0	114.3	6,200	100.0	3,680	100.0
営業利益	247	3.5	152.9	162	2.6	227	6.2
経常利益	202	2.9	198.7	102	1.6	209	5.7
当期(四半期)純利益	141	2.0	510.4	27	0.4	126	3.4
1株当たり当期 (四半期)純利益	127円19銭		26円57銭		121円35銭		
1株当たり配当額 (1株当たり中間配当額)	-円-銭 (-)		-円-銭 (-)		-円-銭 (-)		

(注) 1. 当社は、平成25年4月1日付で、株式1株につき300株の株式分割を行っております。上記では、平成24年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期(四半期)純利益を算出しております。

2. 平成24年9月期(実績)及び平成25年9月期第2四半期累計期間(実績)の1株当たり当期(四半期)純利益は期中平均発行済株式数により算出し、平成25年9月期(予想)の1株当たり当期純利益は公募予定株式数(300,000株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分(最大60,000株)は考慮しておりません。



平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

上場会社名 夢展望株式会社 平成25年7月10日
 コード番号 3185 上場取引所 東
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡 隆宏 URL <http://www.dreamv.co.jp>
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 阪田 貴郁 (TEL)072(761)9293
 四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績 (平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	3,680	—	227	—	209	—	126	—
24年9月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年9月期第2四半期 132百万円 (—%) 24年9月期第2四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	121.35	—
24年9月期第2四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、平成24年9月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成24年9月期第2四半期の数値及び平成25年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高はありますが、平成25年9月期第2四半期において当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
3. 当社は平成25年4月1日付で普通株式1株につき300株の割合で株式分割を行っておりますが、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
25年9月期第2四半期	2,136		316		14.8
24年9月期	2,046		184		9.0

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 316百万円 24年9月期 184百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年9月期	—	0.00	—	—	—
25年9月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想 (平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,086	14.3	247	52.9	202	98.7	141	410.4	127.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1 社（社名）南通佳尚服装有限公司、除外 1 社（社名）

（注）詳細は添付資料 5 ページ「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
② ①以外の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：有
④ 修正再表示：無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料 5 ページ「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年9月期2Q	1,044,000株	24年9月期	1,044,000株
② 期末自己株式数	25年9月期2Q	－株	24年9月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年9月期2Q	1,044,000株	24年9月期2Q	－株

（注）当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき300株の割合で株式分割を行っておりますが、当該株式分割が、前連結会計年度の期首に行われたと仮定して、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 4 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) セグメント情報等	11
(7) 重要な後発事象	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（自平成24年10月1日 至平成25年3月31日）におけるわが国経済は、欧州での債務問題やアメリカ合衆国における財政問題など海外経済の不安要素により、依然として経済活動水準は低水準で推移しましたが、新政権の打ち出した景気回復策に対する期待感から、急速な円安と株高が進み、輸出企業を中心として業績回復が見込まれるなど、明るい兆しも見え始めました。

このような環境の中、当社グループにおきましては、中期経営計画に掲げる「エンターテインメント通販企業として発展」するべく、「関西コレクション」に参加するなどのプロモーション活動を積極的に行い、また新規事業であるテレビ通信販売事業者向けの委託販売については、テレビ通販事業者との共同ニュースリリースを配信し知名度の向上を図り、大きな反響を得ることができました。また、既存ビジネスにおいては、収益力向上、安定化に向けたデータ分析、マーチャンダイジング戦略の向上にも注力致しました。

これにより、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は3,680百万円、営業利益は227百万円、経常利益は209百万円、四半期純利益は126百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(衣料品販売事業)

衣料品販売事業におきましては、冬場の気温が比較的暖かかったこともあり、春物のアイテムの売れ行きが順調に推移しました。その結果、売上高は3,135百万円となり、営業利益は272百万円となりました。

(玩具・雑貨販売事業)

玩具・雑貨販売事業におきましては、主力取引先より安定的な受注は確保できているものの、市場全体の落ち込みによる影響が大きく、厳しい経営環境が続きました。新規の取引先開拓も進めてはいるものの、数字に表れるまでには至っておりません。その結果、売上高は368百万円、営業損失は32百万円となりました。

(その他事業)

その他事業は広告販売事業、他社インターネットモール等への卸売事業、当期より開始致しましたコンタクトレンズ販売事業となっております。当社のこれまでの認知度を活かすことができ、また当社衣料品販売事業との相乗効果もあり順調に推移しておりますが、今のところ売上は飛躍的な向上にまでは至っておりません。その結果、売上高は176百万円、営業損失は11百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて78百万円増加し、1,865百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が419百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が179百万円、商品等在庫が150百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて10百万円増加し、270百万円となりました。この主な要因は、無形固定資産が14百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ89百万円増加し、2,136百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて112百万円減少して1,188百万円となりました。この主な要因は、短期借入金が100百万円増加した一方で、買掛金が108百万円、未払金が71百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べて69百万円増加して630百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が71百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ43百万円減少し、1,819百万円となりました。

財務制限条項の件

株式会社近畿大阪銀行と締結しておりました金銭消費貸借契約に関して、財務制限条項に抵触していたため期限の利益喪失に係る請求を受ける可能性がありましたが、平成24年11月21日付で、関連する借入金の全額を返済したため、当第2四半期連結会計期間末においては、財務制限条項に抵触している状況は解消しております。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて132百万円増加して316百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比べ、421百万円増加し、760百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は308百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益209百万円、減価償却費45百万円、売上債権の減少184百万円、たな卸資産の減少151百万円を計上した一方で、仕入債務の減少114百万円、未払金の減少82百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は49百万円となりました。これは主に、システム開発や改修、アプリ制作等の無形固定資産の取得による支出40百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は159百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増額100百万円、長期借入れによる収入300百万円を計上した一方で、長期借入金等の返済240百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期（平成25年9月期）につきましては、欧州での債務問題やアメリカ合衆国における財政問題など海外経済の不安要素により、個人消費は依然として低迷が続いており、企業の経済活動にとって厳しい状況が続くと推測されます。

当社グループが属するアパレル小売業界におきましても、不透明な景気動向に伴い、消費マインドの低下、客単価の下落等、依然、厳しい経営環境が続いております。

しかしながら、当社グループにおきましては、お客様のニーズに応えた商品ラインナップの拡充と「関西コレクション」に参加するなどのプロモーション活動を積極的に行い、新規事業であるテレビ通信販売事業者向けの委託販売により、引き続き業績の拡大を目指して参ります。

これにより、当期（平成25年9月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高7,086百万円（前年同期比14.3%増）、営業利益247百万円（同 52.9%増）、経常利益202百万円（同 98.7%増）、当期純利益141（同410.4%増）を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成24年11月7日に当社連結子会社の夢展望貿易（深圳）有限公司の出資により、子会社南通佳尚服装有限公司を設立しております。

このため当第2四半期の連結財務諸表から南通佳尚服装有限公司を連結の範囲に加えております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	374,932	794,208
受取手形及び売掛金	599,212	419,311
商品及び製品	683,162	524,324
仕掛品	—	8,039
繰延税金資産	12,890	15,697
その他	120,557	107,014
貸倒引当金	△3,620	△2,786
流動資産合計	1,787,134	1,865,808
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	16,857	15,596
機械及び装置(純額)	—	3,140
工具、器具及び備品(純額)	31,135	27,343
リース資産(純額)	5,875	5,000
有形固定資産合計	53,868	51,080
無形固定資産		
ソフトウェア	152,327	171,417
商標権	4,128	3,880
リース資産	11,378	7,370
無形固定資産合計	167,834	182,668
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,089	963
その他	36,866	35,740
投資その他の資産合計	37,955	36,703
固定資産合計	259,658	270,453
資産合計	2,046,792	2,136,261

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	313,713	204,878
短期借入金	150,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	304,579	299,641
リース債務	6,916	1,552
未払金	346,719	275,492
未払法人税等	54,829	91,852
ポイント引当金	6,450	6,790
賞与引当金	10,790	13,541
事業整理損失引当金	8,097	—
その他	99,200	45,207
流動負債合計	1,301,296	1,188,955
固定負債		
長期借入金	552,252	623,416
リース債務	5,079	3,820
長期末払金	4,017	3,269
固定負債合計	561,349	630,505
負債合計	1,862,646	1,819,461
純資産の部		
株主資本		
資本金	161,625	161,625
利益剰余金	44,888	171,579
株主資本合計	206,513	333,204
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△22,367	△16,403
その他の包括利益累計額合計	△22,367	△16,403
純資産合計	184,146	316,800
負債純資産合計	2,046,792	2,136,261

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	3,680,542
売上原価	1,851,973
売上総利益	1,828,568
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	298,955
販売手数料	142,228
運賃梱包費	386,891
広告宣伝費	316,062
ポイント引当金繰入額	6,790
賞与引当金繰入額	13,506
その他	436,341
販売費及び一般管理費合計	1,600,775
営業利益	227,792
営業外収益	
受取利息	246
その他	961
営業外収益合計	1,207
営業外費用	
支払利息	12,685
為替差損	4,742
その他	1,779
営業外費用合計	19,207
経常利益	209,792
特別損失	
固定資産除売却損	755
特別損失合計	755
税金等調整前四半期純利益	209,037
法人税、住民税及び事業税	85,027
法人税等調整額	△2,681
法人税等合計	82,346
少数株主損益調整前四半期純利益	126,691
四半期純利益	126,691

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	126,691
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	5,963
その他の包括利益合計	5,963
四半期包括利益	132,654
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	132,654
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	209,037
減価償却費	45,142
長期前払費用償却額	1,984
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△830
ポイント引当金の増減額(△は減少)	340
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,715
事業整理損失引当金の増減額(△は減少)	△8,097
受取利息及び受取配当金	△246
支払利息	12,685
売上債権の増減額(△は増加)	184,348
たな卸資産の増減額(△は増加)	151,368
仕入債務の増減額(△は減少)	△114,544
未払金の増減額(△は減少)	△82,594
未払消費税等の増減額(△は減少)	12,504
その他	△44,600
小計	369,212
利息及び配当金の受取額	246
利息の支払額	△12,781
法人税等の支払額	△48,042
営業活動によるキャッシュ・フロー	308,635
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	2,498
有形固定資産の取得による支出	△10,291
無形固定資産の取得による支出	△40,360
その他	△1,054
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,208
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000
長期借入れによる収入	300,000
長期借入金の返済による支出	△233,774
リース債務の返済による支出	△6,623
財務活動によるキャッシュ・フロー	159,602
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,743
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	421,773
現金及び現金同等物の期首残高	338,779
現金及び現金同等物の四半期末残高	760,552

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				四半期連結損益 計算書計上額
	衣料品 販売事業	玩具・雑貨 販売事業	その他事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	3,135,643	368,255	176,642	3,680,542	3,680,542
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,135,643	368,255	176,642	3,680,542	3,680,542
セグメント利益又は 損失(△)	272,181	△32,501	△11,887	227,792	227,792

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

1. 株式の分割及び単元株制度の導入

平成25年3月7日開催の取締役会の決議に基づき、平成25年4月1日付で、以下のとおり株式分割を行っております。また、同日付をもって単元株制度導入に伴う定款変更を行い、単元株式数を100株とする単元株制度を採用しております。

(1) 株式分割及び単元株制度導入の目的

株式単位当たりの金額の引下げを行うことで株式の流動性を高めることを目的として株式分割を実施するとともに、全国証券取引所の「売買単位の集約に向けた行動計画」を考慮し、1単元を100株とする単元株制度の採用を行います。

なお、この株式分割及び単元株制度の採用により、投資単位は実質的に3分の1となりました。

(2) 株式分割の概要

① 分割の方法

平成25年3月31日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式について、1株につき300株の割合をもって分割いたしました。

② 株式分割による増加株式数

普通株式	1,040,520株
------	------------

③ 株式分割後の発行済株式総数

普通株式	1,044,000株
------	------------

④ 株式分割後の発行可能株式総数

普通株式	3,936,000株
------	------------

⑤ 株式分割の効力発生日

平成25年4月1日

なお、「1株当たり情報」は、当該株式分割が当連結会計年度の期首に行われたと仮定して算出しており、これによる影響については、当該箇所に記載しております。

(3) 単元株制度の採用

普通株式の単元株式数を100株といたしました。

2. 連結子会社の解散について

当社は、平成25年3月7日開催の取締役会において、以下のとおり、連結子会社である夢展望（台湾）有限公司を解散することを決議しました。

(1) 解散の理由

連結子会社である夢展望（台湾）有限公司は、台湾における衣料品販売事業を主として行って参りましたが、業績の悪化を受け平成24年9月に当該事業より撤退することを決定しております。その後の当社グループにおける同社の役割を再検討した結果、独立した法人として存在する意義が失われたため、この度、当該子会社を解散・清算することとしました。今後は、駐在員事務所として活動を行うことといたしました。

(2) 解散する子会社の概要

- ①名称：夢展望（台湾）有限公司
- ②所在地：台北市中山區吉林路24號7樓之1
- ③代表者：董事長 田中啓晴

④事業内容：衣料品販売事業

⑤資本金：21,600千台湾ドル

⑥会社設立：2009年7月

⑦大株主及び持分比率：夢展望株式会社 100%

⑧最近事業年度における業績の状況（平成24年9月期）

純資産合計 △1,792千台湾ドル

負債合計 8,455千台湾ドル

(3)解散の日程

解散の日程につきましては、平成25年3月より解散の手続きを開始しており、現地の法律に従い、必要な手続きが完了次第、清算終了となる予定であります。

(4)当該解散による会社の損失見込額

当該子会社については、先の事業撤退に伴い、前連結会計年度において事業整理損失引当金繰入額8,097千円を特別損失として計上済みであり、当連結会計年度における解散に伴う損失は軽微であります。

(5)当該解散が営業活動等へ及ぼす重要な影響

当該解散が当社グループの営業活動等へ及ぼす影響は軽微であります。